

企業活動の進め方 I

JT の森での取組

持続可能な地球環境への取組

日時：平成27年10月10日（土） 10:00～15:00

講師：日本たばこ産業株式会社 CSR推進部社会貢献室

概況



科目名 企業活動の進め方 I (JTの森での取組)

午前講師 日本たばこ産業(株) CSR推進部 社会貢献室 室長 草柳直樹

◎「つながる森・人・社会」

JTグループでは、「自然・社会・人間の多様性に価値を認め、お客様に信頼される『JTならではのブランド』を生み出し、育て、高め続けていくこと」を JTグループミッションとして定め、その実現を図るため、コポレートがバナンス・コンプライアンス等の「経営の基盤領域」としての CSR(社会的責任)への取組を実施しています。さらに、事業環境および地球環境との調和を図り、地域社会との共生を目指す観点から、「事業環境」「地球環境」「社会貢献」の各分野においても、より広範な CSR(社会的責任)への取組を積極的に推進しています。

その一つの取組として、森林保全活動「JTの森」を実施しており、実施場所の地域特性に合わせ、森づくりの目標・コンセプトを明確にして活動に取り組んでいます。

実施場所は、以下のとおり全国9ヶ所(1ヶ所終了)です。

積丹(北海道)、鶴岡(山形県)、小菅(山梨県)、中津川(岐阜県)中辺路(和歌山県)
智頭(鳥取県)※2015年8月終了、奈半利(高知県)、ゆのまえ(熊本県)、重富(鹿児島県)

森林保全活動に取り組んでいる理由は、JTグループが展開する事業は、葉たばこ・紙・野菜など植物を中心とした自然由来の原材料を使用しています。そのため、事業

を支える自然の恵みへの感謝の想を形にしたい。また、その活動を通じて環境を守っていくことの重要性を考え、行動していくための契機にしたいという思いからです。「JTの森」の活動は、和歌山田辺市中辺路町の森で2005年から始まりました。

午後講師 日本たばこ産業(株) 東海支社 支社長 島川敏彦

◎「JTの森」取組の実際

①JT東海支社管内での主なCSR活動紹介

※バレーボールVリーグ、ひろえば街が好きになる運動

将棋日本シリーズ、分煙環境整備など ……

②JTの森中津川の森林保全活動を参考に、以下のテーマでワークショップを行いました。

テーマⅠ 『活動のミッションを達成するために重要なことは？』

→ 高い志を持って継続することが最も重要

テーマⅡ 『集団での取組を行う上で継続を妨げる事柄はどのようなものがありますか？』

受講生 4～5人の班に分かれ、活発な意見交換がなされました。各班の発表では、頷く場面が多く見られました。